

部活動の地域移行に関する補助の拡充について

近 畿 部 会 提 出

近年、教育現場では、部活動について、競技経験のない教職員がその指導を求められることや、大会の運営や生徒の引率など、休日にも部活動の指導が求められること等、部活動に係る教職員の過大な負担が問題となっており、少子化が進む中、部活動自体の持続が危ぶまれている。

このような状況の下、部活動の地域移行に向けた支援として、文部科学省の令和5年度予算の概算要求において118億円の予算要求があったが、令和5年3月に成立した令和5年度予算においては、90億円減額され、28億円の予算となっている。

将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保するためにも、部活動の地域移行に向けた環境を整備することが重要であるが、地域移行を円滑に行うためには、その重要な課題である受け皿の整備、指導者の確保、経費の負担について、地域のスポーツ団体や指導者等と学校との連携・協働を図る役割を担う総括コーディネーターの配置が重要である。

については、部活動の円滑な地域移行を実現するための予算の確保と、特に総括コーディネーターが担う役割の重要性に鑑み、総括コーディネーターを配置するための財政的支援を積極的に行うよう要望する。